SD-WANでのSD-AVCの設定

内容

はじめに

前提条件

<u>要件</u>

使用するコンポーネント

<u>背景</u>

SD-AVCとは

Cisco Cloud Connectorとは

設定

<u>クラウドコネクタの有効化</u>

vManageでのSD-AVCの有効化

vManageでのSD-AVC Cloud Connectorの有効化

SD-AVC Cloud Connectorの有効化(20.10より前)

SD-AVC Cloud Connectorの有効化(20.13まで)

EnableSD-AVC Cloud Connector、20.14以降

ポリシー設定

確認

<u>トラブルシュート</u>

関連情報

はじめに

このドキュメントでは、ソフトウェア定義ワイドエリアネットワーク(SD-WAN)でソフトウェア 定義アプリケーションの可視性と制御(SD-AVC)を設定する方法について説明します。

前提条件

要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- SD-WAN
- SD-AVC

Cisco vManageの仮想マシンには、次の最小限のリソースが必要です。

RAM:32 GB

• ストレージ: 500 GB

• vCPU:16

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づいています。

- Cisco vManageリリース20.3.x以降
- vManageバージョン20.6.3
- vBondバージョン20.6.3
- vSmartバージョン20.6.3
- サービス統合型ルータ(ISR)4321/K9バージョン17.5.1a

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このド キュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな(デフォルト)設定で作業を開始していま す。本稼働中のネットワークでは、各コマンドによって起こる可能性がある影響を十分確認して ください。

背景

SD-AVCとは

Cisco SD-AVCは、Cisco Application Visibility Control(AVC)のコンポーネントです。 AVCは、従 来は専用アプライアンスとして使用されていたルーティングデバイスのアプリケーション認識機 能とパフォーマンスモニタリング機能を組み込みます。中央集中型のネットワークサービスとし て機能し、ネットワーク内の特定のデバイスで動作します。

詳細については、『SD-AVCの機能と利点』を参照してください。

Cisco Cloud Connectorとは

Cisco Cloud Connectorは、トラフィック分類を改善するシスコが提供するクラウドサービスです 。この機能は、公衆インターネットサイトやサービスで使用されるサーバアドレスに関する最新 の情報を使用して、トラフィックのSD-AVC分類を改善します。

設定

クラウドコネクタの有効化

1. Cisco API Consoleを開いて、 My Apps & Keysをクリックします。



💊 注:デバイスがホストするSD-AVCネットワークでは、Cisco SD-AVCクラウドサーバドメイン(api.cisco.com、 cloudsso.cisco.com、prod.sdavc-cloud-api.com)へのアクセスが必要です。

2. 図に示すよう Register a New App にクリックします。

Documentation

Interactive APIs

My Apps & Keys

My Apps & Keys

Applications Keys Register a New App

- 3. 「 Name of your application 」フィールドに、アプリケーションの記述名を入力します。
- 4. チェ Client Credentials ックボックスをオンにします。
- 5. チェ Hello API ックボックスをオンにします。
- 6. チェックボックスをオンにして、利用規約に同意します。
- 7. Registerをクリックします。Cisco APIコンソールページに、クライアントIDとクライアントシークレットの詳細が表示されます
- 。このページを開いたままにして、次の図に示す手順を実行します。

My Apps & Keys

Applications Keys Register a New App

SDWAN_SDAVC_Test

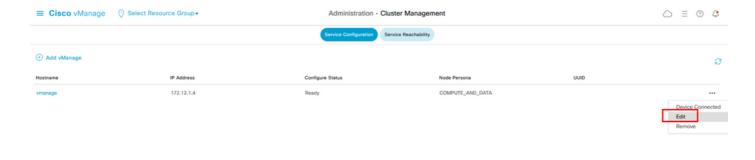
Registered: 8/10/22 5:21 pm Grant Type: Client Credentials

API	KEY	CLIENT SECRET	STATUS
Hello API	ttg	aUW	active

Edit This App Delete This App Add APIs

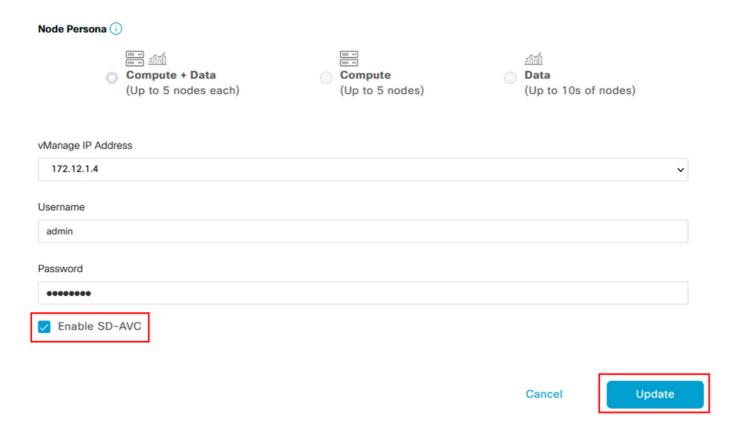
vManageでのSD-AVCの有効化

1. Administration > Cluster Management > Service Configurationに移動します。をクリック (...) More Actions し、 Editを選択します。

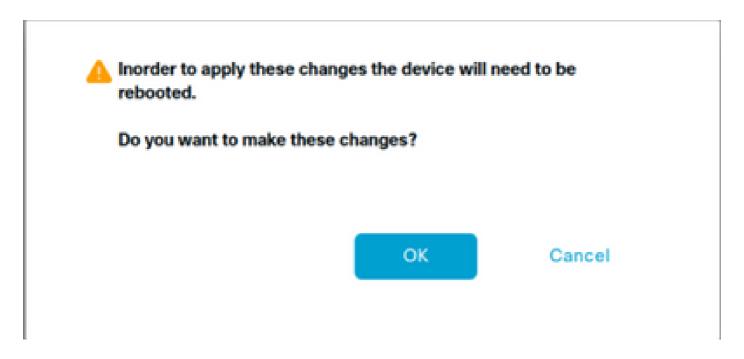


🌺 注:SD-AVCを有効にするために、VPN 0トンネル/トランスポートまたはVPN 512インターフェイスを使用しないでくださ い。 vpn 0のクラスタインターフェイスを使用できます。

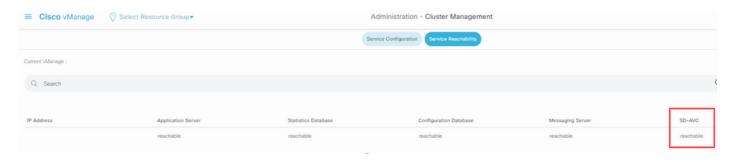
2. vManage IP Addressセクションで、IPアドレスをクリックします。 VPN 0の非トンネルIPアドレスを選択します。クレデンシャ ルを入力し、 Enabled SD-AVC チェックボックスをオンにして、図に示すようにUpdateクリックします。



3. アップデートを確認したら、OKをクリックして、図に示すようにデバイスをリブートします。



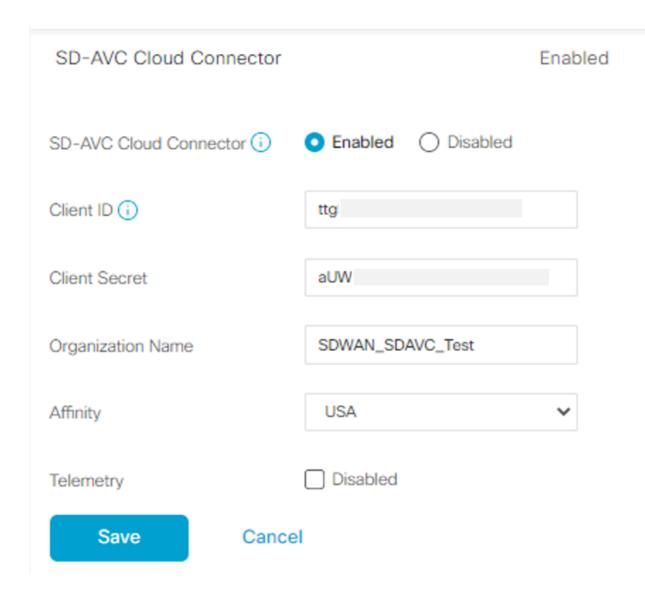
4. vManageがリブートした後、Administration > Cluster Management > Service Reachabilityに移動します。「SD-AVC」と表示され Reachableます。



vManageでのSD-AVC Cloud Connectorの有効化

SD-AVC Cloud Connectorの有効化(20.10より前)

- 1. vManage GUIセクションで、Administration > Settings > SD-AVC Cloud Connectorに移動し、 **Editを**クリックします。
- 2. SD-AVC Cloud Connectorについては、Enabledオプションボタンをクリックします。図に示すように、Enable Cloud Connectorセクションで生成されたこれらのフィールドに値を入力します。
 - クライアント ID
 - クライアントシークレット
 - 組織名
 - アフィニティ
 - テレメトリ(オプション)



3. Saveをクリックし、次の図に示すように通知を確認します。



SD-AVC Cloud Connectorの有効化(20.13まで)

20.10.1以降のCloud Connectorを有効にするには、クライアントIDとクライアントシークレットの代わりに、クラウドゲートウェイURLとワンタイムパスワード(OTP)が必要です。

シスコがホストする20.10.1以降の新規インストールでは、Cloud Connectorはデフォルトで有効になっており、クレデンシャルの入力は必要ありません。

- 1. vManage GUIセクションで、Administration > Settings > SD-AVCに移動し、 Editをクリックします。
- 2. Cloud Connectorについては、Enabledのオプションボタンをクリックします。図に示すように、Enable Cloud Connectorセクションで生成されたこれらのフィールドに値を入力します。

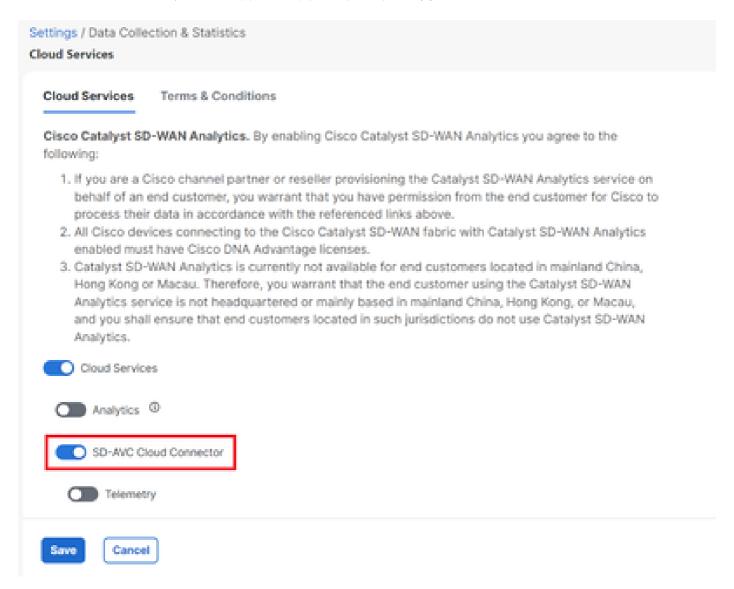
。 クラウドホスト:<u>Cisco Catalyst SD-WAN Portal</u>を使用してOTPを取得します。詳細については、『<u>Cisco Catalyst SD-</u> WAN Portal Configuration Guide』を参照してください。 → オンプレミス: OTPに関するCisco TACケースをオープンします。 • クラウドゲートウェイURL https://datamanagement-us-01.sdwan.cisco.com/validate sdavc/を使用 SD-AVC Enabled Cloud Connector Disabled OTP Cloud Gateway URL https://datamanagement-us-01.sc Telemetry Disabled Save Cancel

3.Saveをクリックし、通知の設定が適用されたことを確認します。

EnableSD-AVC Cloud Connector、20.14以降

20.14.1では、Administration > SettingsのCloud ServicesオプションからCisco SD-AVC Cloud Connectorを有効にするための新しい手順を導入しています。このリリースから、Cloud Connectorを有効にするために、OTPを実行したり、TACケースをオープンしたりする必要はありません。

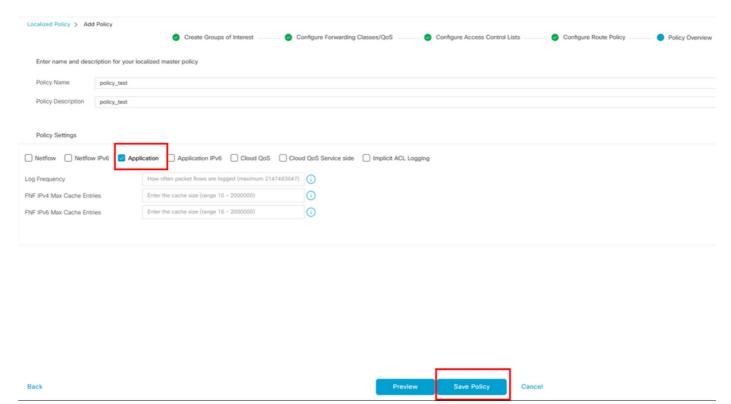
- 1. vManage GUIセクションで、 Administration > Settings > Cloud Services. Confirm Cloud Services are enabled.
- 2. Cloud Connectorについては、Enabledのオプションボタンをクリックします。



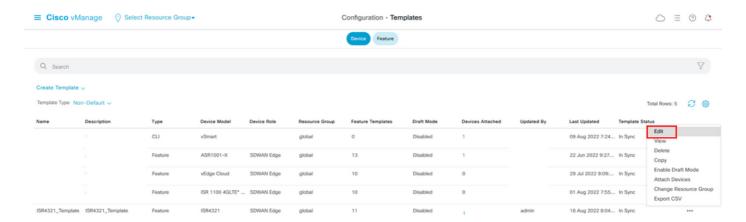
3.Saveをクリックし、通知の設定が適用されたことを確認します。

SD-AVCを有効にしたら、ローカライズされたポリシーを作成し、アプリケーションの可視性を有効にする必要があります。

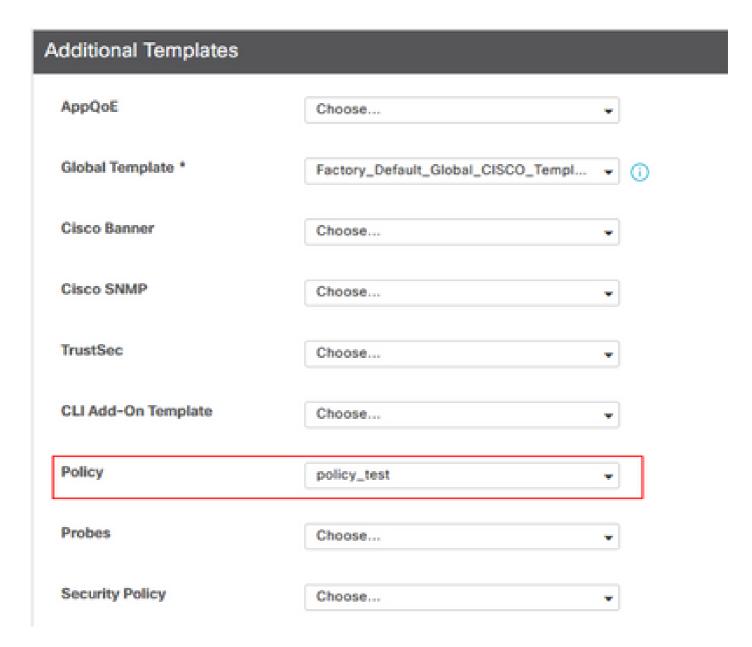
- 1. vManage GUIに移動し、 Configuration > Policies > Localized Policy > Add Policyを選択します。
- 2. **Policy Overview**,に移動します。Policy Settingsのセクションで、チ **Application** エックボックスをオンにして、 **Save Policy**をクリックします。



3. Configuration > Templatesに移動します。Ciscoエッジルータのテンプレート名を特定し、(...) More Actionsをクリックして、図に示すようにEdit選択します。



4. Additional Templatesに移動します。ドロ Policy ップダウンリストから、先ほど作成したローカライズされたポリシーを選択します。



5. テンプレートを保存します。

確認

このセクションでは、設定が正常に動作していることを確認します。

1. Ciscoエッジデバイスで次のコマンドを入力し、CiscoエッジデバイスとSD-AVCコントローラの間の接続を確認します。

<#root>

ISR4321#

show avc sd-service info summary

Status : CONNECTED <><><<>< The device is connected with SD-AVC

Device ID: ISR4321

Device segment name: <organization name>

Device address:<device ip address>

Device OS version:17.03.05

Device Type: ISR4321/K9

Active controller: Type: Primary IP: <system-ip> Status: Connected Version: 4.0.0

Last connection: 21:20:28.000 UTC Thu Jul 31 2022

Active SDAVC import files Protocol pack: Not loaded

Secondaru protocol pack PPDK_af575ccaebf99b0c4740dfc7a611d6.pack

2. vManage CLIにログインし、コンテナのステータスを確認します。

<#root>

vManage#

request nms container-manager status

Container Manager is running<

<#root>

vManage#

request nms-container sdavc status

b'Container: sdavc\nCreated: 7 weeks ago ago\nStatus: Up 7 weeks\n' <<<<<<

<#root>

vManage#

request nms container-manager diagnostics

NMS container manager Checking container-manager status Listing all images

DEDOCTTORY

REPOSITORY	TAG	IMAGE ID	CREATED	SIZE
sdwan/cluster-oracle	1.0.1	aa5d2a4523a4	5 months ago	357MB
cloudagent-v2	fb3fc5c0841	fa24f9ef31a7	6 months ago	590MB
sdwan/host-agent	1.0.1	038ad845f080	7 months ago	152MB
sdwan/statistics-db	6.8.10	08fc31a50152	8 months ago	877MB
sdwan/coordination-server	3.6.2	5f4497812153	13 months ago	260MB
sdwan/configuration-db	4.1.7	ad351b31f7b9	13 months ago	736MB

sdwan/messaging-server	0.20.0	a46dc94d4993	13 months	ago	71.2MB
sdavc	4.1.0	721c572475f9	14 months	ago	1.17GB
sdwan/support-tools	latest	0c3a995f455c	15 months	ago	16.9MB
sdwan/service-proxy	1.17.0	4e3c155026d8	15 months	ago	205MB
sdwan/ratelimit	master	f2f93702ef35	16 months	ago	47.6MB

Listing all containers

CONTAINER ID	IMAGE	COMMAND	CREATED	STAT
270601fc94ec	cloudagent-v2:fb3fc5c0841	"python ./main.py"	6 weeks ago	Up 6
53bba5216b24	sdwan/ratelimit:master	"/usr/local/bin/rate"	6 weeks ago	Up 6
59bf900edf14	sdwan/service-proxy:1.17.0	"/entrypoint.sh /run"	6 weeks ago	Up 6
62defa38c798	sdwan/messaging-server:0.20.0	"/entrypoint.sh /mes"	6 weeks ago	Up 6
3fbf32dd8d73	sdwan/coordination-server:3.6.2	"/docker-entrypoint"	6 weeks ago	Up 6
c2e7b672774c	sdwan/configuration-db:4.1.7	"/sbin/tini -g /d"	6 weeks ago	Up 6
f42ac9b8ab37	sdwan/statistics-db:6.8.10	"/bin/tini /usr/l…"	6 weeks ago	Up 1
112f3d9b578b	sdavc:4.1.0	"/usr/local/bin/scri…"	7 weeks ago	Up 7
06b09f3b030c	sdwan/host-agent:1.0.1	"python ./main.py"	7 weeks ago	Up 7
3484957576ee	sdwan/cluster-oracle:1.0.1	"/entrypoint.sh java…"	7 weeks ago	Up 7
Docker info				

Client:

Debug Mode: false

Server:

Containers: 10 Running: 10 Paused: 0 Stopped: 0 Images: 11

Server Version: 19.03.12 Storage Driver: aufs

Root Dir: /var/lib/nms/docker/aufs

Backing Filesystem: extfs

Dirs: 149

Dirperm1 Supported: true Logging Driver: json-file Cgroup Driver: cgroupfs

Plugins: Volume: local

Network: bridge host ipvlan macvlan null overlay

Log: awslogs fluentd gcplogs gelf journald json-file local logentries splunk syslog

Swarm: inactive Runtimes: runc

Default Runtime: runc Init Binary: docker-init

containerd version: fd103cb716352c7e19768e4fed057f71d68902a0.m runc version: 425e105d5a03fabd737a126ad93d62a9eeede87f-dirty

init version: fec3683-dirty (expected: fec3683b971d9)

Kernel Version: 4.9.57-ltsi Operating System: Linux

OSType: linux

Architecture: x86_64

CPUs: 16

Total Memory: 30.46GiB

Name: vManage

ID: XXXX:XXXX:XXXX:XXXX:XXXX:XXXX

Docker Root Dir: /var/lib/nms/docker

Debug Mode: false

Registry: https://index.docker.io/v1/

Labels:

Experimental: false

```
Insecure Registries:
 127.0.0.0/8
Live Restore Enabled: false
WARNING: No cpu cfs quota support
WARNING: No cpu cfs period support
```

WARNING: bridge-nf-call-iptables is disabled WARNING: bridge-nf-call-ip6tables is disabled

WARNING: the aufs storage-driver is deprecated, and will be removed in a future release.

20.10では、「request nms all status」の出力に動作の変更があります。

Cisco Catalyst SD-WANコントロールコンポーネントリリース20.10.x以降を使用している場合、シスコがホストするCisco Catalyst SD-WANのインストールでは、SD-AVCコンポーネントは以前のリリースとは動作が異なります。その結果、Cisco Catalyst SD-WANインスタンスでrequest nms all statusコマンドを実行すると、「NMS SDAVC server」コンポーネントが有効になっていないこ とが示されます。これは正常な動作であり、SD-AVCの問題を示すものではありません。「NMS SDAVC gateway」コンポーネント が有効になっていることが表示されます。

NMS SDAVC server Enabled: false Status: not running NMS SDAVC gateway Enabled: true Status: running PID

トラブルシュート

このセクションでは、設定のトラブルシューティングに役立つ情報を紹介します。

vManageログで、次のパスを確認します。

/var/log/nms/vmanage-server.log /var/log/nms/containers/sdavc/avc/sdavc_application.log

コマンド

<#root>

```
request nms container-manager
 {
status
 1
diagnostics
}
```

Cisco Edge Cisco IOS® XEで次のコマンドを入力します。

<#root>

```
Router#
```

show avc sd-service info connectivity

```
show avc sd-service info
{
export
|
import
```

関連情報

}

<u>Cisco Catalyst SD-WANスタートアップガイド – ハードウェアおよびソフトウェアのインストール</u>

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版(リンクからアクセス可能)もあわせて参照することを推奨します。